

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表

事業所・施設名()

[illegible]

2 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、4週間分の勤務すべき時間数を記入してください。夜勤、準夜勤については、網かけをする等その旨を表示してください。

3 職種ごとに下記の勤務形態の区分の順にまとめて記載し、「週平均の勤務時間」については、職種ごとの小計と、B～Dまでを加えたかずの小計の行を挿入してください。

勤務形態の区分 A:常勤で専従 B:常勤で兼務 C:常勤以外で専従 D:常勤以外で兼務

4 常勤換算が必要な職種は、A～D の「週平均の勤務時間」をすべて足し、常勤の従業者が週に勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を計算してください。

5 サービス提供が単位（共同生活住居を含む。）ごとに行われるサービス種類の場合は、各単位ごとに記入してください。

6 算出にあたっては、少数点第2位以下を切り捨ててください。

7 当該事業所・施設に係る組織体制図を添付してください。

8 各事業所・施設において使用している勤務割表等(既に事業を実施しているときは直近月の実績)により、職種、勤務形態、氏名及び当該業務の勤務時間が確認できる場合は、その書類をもって添付書類として差し支えありません。

9「有する資格」欄には、介護福祉士、ヘルパー1級など従業者が有する資格について主なものを記載してください。

(様式19-4)

作成例

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

(年 月分) サービス事業所・施設(地域対応型共同生活介護)

29日以降に勤務が偏るには、それらを考慮にいれた合計時間を記載してください。(列の追加は不要)

職種	勤務 形態	氏名	有する資格	第1週							第2週							第3週							第4週							4週の 合計	週平均の 勤務時間	常勤換 算後の 人数
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
				月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
管理者	ユニット毎にまとめて 記載する。		社会福祉主事	4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			80	20	0.5
計画作成担当者	A		介護支援専門員	8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			160	40	1.00
介護職員	A		介護福祉士	8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			160	40	1.00
介護職員	A		介護福祉士	8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			160	40	1.00
介護職員	C		ヘルパー1級	4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			80	20	0.50
																															合計	100	2.50	
管理者	A		社会福祉主事	4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			80	20	0.5
計画作成担当者	A		介護支援専門員	8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			160	40	1.00
介護職員	A		介護福祉士	8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			160	40	1.00
介護職員	A		介護福祉士	8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8	職種ごとの常勤換 算数合計が分か るように記載してく ださい。			40	1.00
介護職員	C		ヘルパー1級	4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4				20	0.50	
																																100	2.50	

職種ごとの常勤換算数合計が分かるように記載してください。

- 備考1 * 欄には、当該月の曜日を記入してください。
- 2 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、4週間分の勤務すべき時間数を記入してください。夜勤、準夜勤については、網かけをする等その旨を表示してください。
- 3 職種ごとに下記の勤務形態の区分の順にまとめて記載し、「週平均の勤務時間」については、職種ごとの小計と、B～Dまでを加えたかずの小計の行を挿入してください。
- 勤務形態の区分 A:常勤で専従 B:常勤で兼務 C:常勤以外で専従 D:常勤以外で兼務
- 4 常勤換算が必要な職種は、A～D の「週平均の勤務時間」をすべて足し、常勤の従業者が週に勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を計算してください。
- 5 サービス提供が単位(共同生活住居を含む。)ごとに行われるサービス種類の場合は、各単位ごとに記入してください。
- 6 算出にあたっては、少数点第2位以下を切り捨ててください。
- 7 当該事業所・施設に係る組織体制図を添付してください。
- 8 各事業所・施設において使用している勤務割表等(既に事業を実施しているときは直近月の実績)により、職種、勤務形態、氏名及び当該業務の勤務時間が確認できる場合は、その書類をもって添付書類として差し支えありません。
- 9 「有する資格」欄には、介護福祉士、ヘルパー1級など従業者が有する資格について主なものを記載してください。